

資料1 第2期子ども・子育て支援事業計画における令和5年度確保方策の実施状況について

はじめに 第2期子ども・子育て支援事業計画について

少子高齢化・核家族化の進行、働き方の多様化、地域のつながりの希薄化などの背景のもと、平成27年度より「子ども・子育て支援新制度」が開始され、苫小牧市では「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、乳幼児への教育・保育の充実、子育て支援に関する施策推進に取り組んでおります。

現在は、第2期計画により、令和2年度から令和6年度までの5年間、すべての子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、総合的な子育て関連施策を推進していくための計画となっており、毎年度実績に基づいて評価を行うこととしております。

1 特定教育・保育施設

《表の見方について》

項目	内容
量の見込み	保育所や幼稚園等への入所を希望するニーズ量の見込み
需要量実績	保育所や幼稚園等への入所を希望するニーズ量の実績
目標値	計画で定めた受入数の目標値
受入枠	各施設で設定した定員の合計
実績	実際に受け入れた園児の実績数

《認定区分ごとの令和5年度の実績等》

認定区分	実績等
1号(3～5歳児)	実績は目標値を下回ったが、需要量以上の受入枠を確保できた。
2号(3～5歳児)	超過受入により実績は目標値を上回った。
3号(1～2歳児)	実績は目標値どおりとなった。
3号(0歳児)	受入枠、実績ともに目標値を下回った。

※1号：保育を必要としない3～5歳（幼稚園、認定こども園の幼稚園部分を利用）

2号：保育を必要とする3～5歳（保育園、認定こども園の保育所部分を利用）

3号：保育を必要とする0～2歳（保育園、小規模保育事業、認定こども園の保育所部分を利用）

《評価を「B」とした理由について》

1号（3～5歳児）は、目標値には到達していない状況ですが、需要量実績に十分対応可能な受入枠の確保ができています。3号（0歳児）は、各園に定員を超過して園児を受け入れていただいているものの、引き続き目標値には到達していない状況です。一方で、3号（0歳児）以外は概ね目標分を受け入れる体制が確保できていることから、全体の評価としては「B」としております。

2 地域子ども・子育て支援事業

《施策ごとの評価、現状、今後の計画等》

施策名	評価	R4 評価 (参考)	現状及び今後の計画等
延長保育事業	A	B	目標を上回る支援ができています。
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	A	A	目標を上回る支援ができています。
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	A	B	目標を上回る支援ができています。
地域子育て支援拠点事業	B	B	新型コロナウイルス感染拡大前の利用者数まで回復していないものの、各種事業への参加者は堅調に推移しており、おおむね順調と判断する。
一時預かり事業 (幼稚園型)	A	A	目標を上回る受入ができています。
一時預かり事業 (保育所等)	B	B	施設数は目標を達成できた。新型コロナウイルス感染拡大前の利用者数まで回復していないものの、利用希望者のニーズに応えることができていることから、おおむね順調と判断する。
病児保育事業・子育て援助 活動支援事業	B	C	みその保育園の受入れは進まなかったが、ファミリー・サポート・センターはほぼ目標値どおり受入れができた。
子育て援助活動支援事業 (就学児のみ)	B	B	新型コロナウイルス感染拡大前の利用者数まで回復していないものの、利用希望者のニーズに応えることができていることから、おおむね順調と判断する。
利用者支援事業(特定型)	A	A	市役所、子育て支援センターの2か所に窓口を設置済み。
利用者支援事業 (母子保健型)	A	A	市役所に窓口を設置済み。
妊婦健康診査事業	A	A	必要とする方への助成ができています。
乳児家庭全戸訪問事業	A	A	対象となるほぼすべての家庭への訪問ができています。
養育支援訪問事業 (専門的相談支援)	A	A	希望する方への支援ができています。
養育支援訪問事業 (育児・家事援助)	B	B	令和4年度から令和5年度にかけて支援回数の落ち込みはあるが、支援世帯数は共に9世帯であり、各世帯の相談内容や週の利用頻度などの違いや他のサービスへの繋ぎなどが原因であることから、今回の評価とした。